

## 事例研究報告

**中学部において、  
日常生活の指導と個別事例についての指導方法を  
効率的に共有するための取り組み  
～第1層と第3層（SWPBS）の  
支援体制構築に向けて～**

## 中学部生徒の実態

- 中学部 1年生～3年生
- 全生徒数 39名（男子28名 女子11名）
- 実態は多様である。個別スケジュールを活用したり、簡単な言語指示を理解して行動したりすることができる。

## 教員の願い

- ・生徒が自立的に行動できる場面を増やすため日常生活の指導と個別事例の指導を効率的に行うためのシステムを検討する。
- ・小学部の取り組みを参考とした日常生活の指導【第1層支援】をR2年度から継続して行う。高等部の清掃手順を参考にしたチェック表の改善を行い、効率的な指導につなげる。
- ・日常生活の指導以外の個別事例を取り上げ【第3層支援】、学部全体で課題解決に取り組むためのシステムを検討する。

## アドバイザーからの助言（第1回目）★第1層支援★

- ・ 2020年度版日常生活の指導（掃除）行動観察チェックシートの【手順】をまず使う。○がつかない項目は課題分析をしてある【スキル】を使うことがルールである。シートの【手順】【スキル】項目の関連付けは書式上、工夫する。
- ・ 個別事例は第3層支援として実施する。記録様式については実態に応じて十分な検討を行う。グループ検討会での時間設定は中学部版として20分から30分程度で行うことを検討する。

## アドバイザーからの助言（第1回目）★第3層支援★

### ■ 個別事例① – 1

「友だちに対して適切な関わりができるようになる」

- 先生方から出たアイデアから、できそうなものを選ぶ
- 記録の取り方は事例によって異なるので工夫が必要

\* 全体での個別事例検討会を実施し、  
コンサルテーションを受けた

### ■ 個別事例②

「登校時にバスから降りることが  
ができる」

- バスの中で教員が関わりすぎている
- バスを降りてから楽しむことのできる時間を設ける

\* 全体での個別事例検討会を実施し、  
コンサルテーションを受けた

## 助言を受けての見直し（第1回目）★第1層支援★

- ・ 中学部SWPBS取り組みチャート図の作成を検討する。
- ・ 清掃チェック表（行動観察表）の【手順】と【スキル】の様式を修正する。
- ・ 第1層支援は R2年度の書式を活用して継続して全員が行う。第3層支援はグループ検討会で出た個別事例を取り上げ、必要に応じて全体で検討会を実施する。

## 助言を受けての見直し（第1回目）★第3層支援★

### ■ 個別事例① – 1

「友だちに対して適切な関わりができるようになる」

- ・ 指導場面は朝の日生とする。

\* コンサル後ケース会を実施して見直し

- ・ 友だちや教員とのゲームを通して適切な人との関わりについて指導する
- ・ 行動が起きやすいロッカー前の環境設定を行う

### ■ 個別事例②

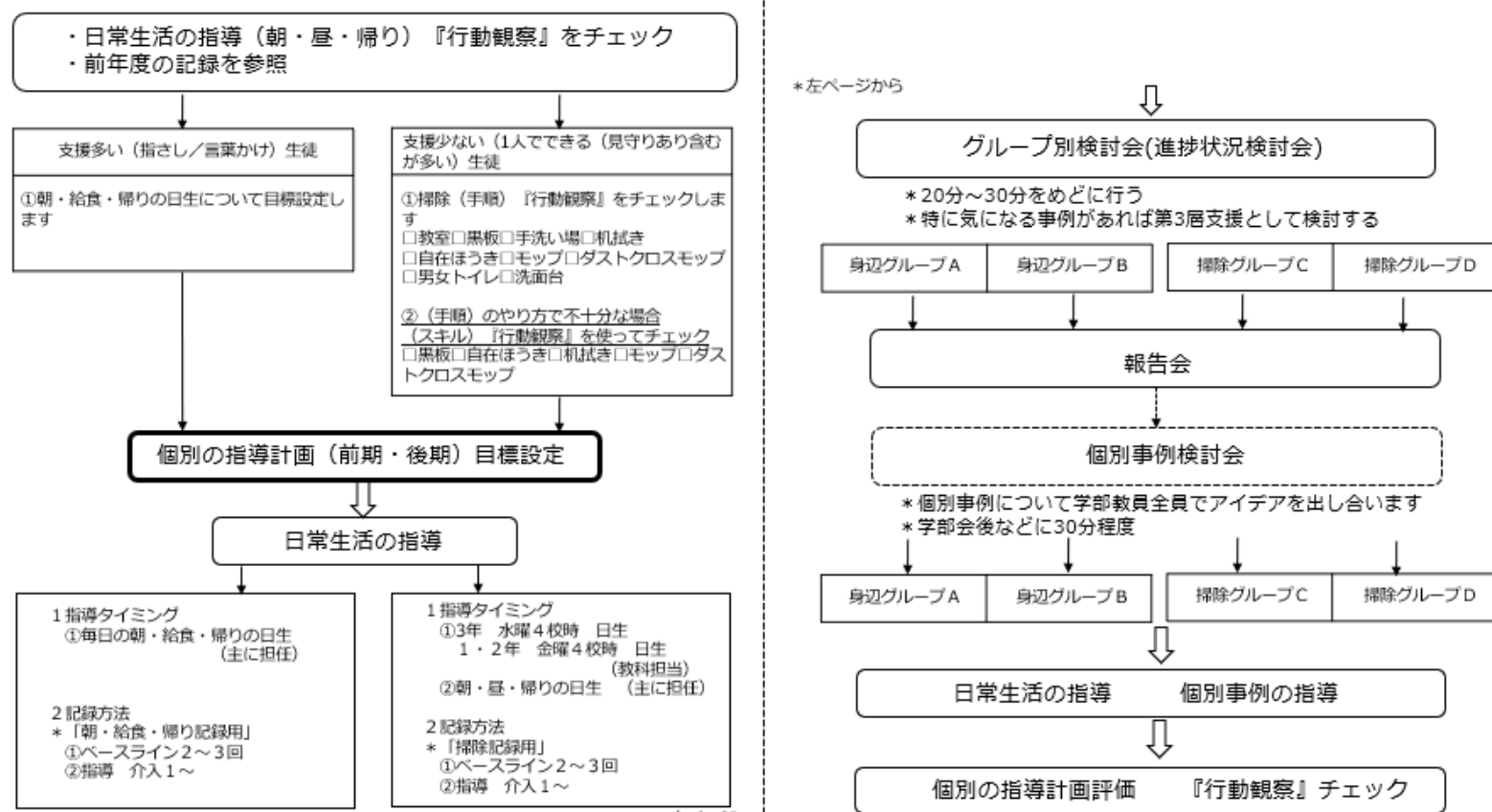
「登校時にバスから降りることができる」

- ・ バスの中では端的な言葉かけのみを行い、その後はバスの外で待つ
- ・ バスを降りてから、ご褒美のおやつを手渡す
- ・ バスを降りてからは生徒のペースで活動を進める

# 指導の手続き（第1回目）★第1層支援★

- 日常生活の指導（身辺）は従来の様式で継続して行う。
- SWPBSの進め方チャートを作成した。

中学部 日常生活の指導（SWPBS）進め方 チャート





# 指導の手続き（第1回目）★第1層支援★

## ・掃除の行動観察チェック表の改善を行った。

ダストクロスモップ 名前（ ）

①現状にチェックをする。 ○：できる /（斜線）：未実施（スケジュールに入っていないもの）  
 ②ツール：スケジュールに関するツール（具：具体物、カ：カード（絵・写真・文字）、チ：セルフチェック式、ト：トランジションカード使用）

ダストクロスモップ 行動観察【手順】

ト	ツール	番号	活動	ひとりできる	ひとりできる (見守り有り)	指差し・言葉かけ	モデリング	身体的支援	備考
	具・カ・チ	1	ダストクロスをひろげておく			指・言			
	具・カ・チ	2	ダストクロスの真ん中にモップをおく			指・言			
	具・カ・チ	3	ダストクロスを折り返してとめる			指・言			
	具・カ・チ	4	ダストクロスモップをもつ			指・言			
	具・カ・チ	5	床のダストを取る			指・言			
	具・カ・チ	6	クロスモップをモップから外してすてる			指・言			
	具・カ・チ	7	先を上にしてダストクロスモップをかたづける			指・言			

教室掲示用手順書あり

ダストクロスモップ 行動観察【スキル】

ト	ツール	番号	活動	ひとりできる	ひとりできる (見守り有り)	指差し・言葉かけ	モデリング	身体的支援	備考
	具・カ・チ	1	ダストクロスをひろげておく			指・言			
	具・カ・チ	2	ダストクロスの真ん中にモップをおく			指・言			
	具・カ・チ	3	ダストクロスを折り返してとめる			指・言			
	具・カ・チ	4	片膝をついた姿勢			指・言			
	具・カ・チ	5	柄の先端に親指をのせて、ダストクロスモップをもつ			指・言			
	具・カ・チ	6	部屋のすみをふきながら一周する			指・言			
	具・カ・チ	7	体の前で左右に動かし（数字の8を描くように）後ろに下がりがらふく			指・言			
	具・カ・チ	8	クロスをモップから外してすてる			指・言			
	具・カ・チ	9	ゴミのついた面が内側になるように折り込む			指・言			
	具・カ・チ	10	先を上にしてダストクロスモップをかたづける			指・言			

教室掲示用手順書（画像つき）あり

# 指導の手続き（第1回目）★第3層支援★

・グループ別検討会で出た個別事例について全体で事例検討会を行った。

・全体の事例検討会で出たアイデアを参考に個別事例の指導を開始した。

【 学校コンサル：全体研修会 】 記録用紙

「〇さんの指導について ～人との関係を広げるいい方法～」

〇さんについて

できている行動	・ ・ ・
望む姿	・ ・ ・

1. 指導のアイデアをたくさん出そう

【10分間】

※現実的（時間・人数・物理的）に難しい、実態が少し違う などでもまずはOK！  
環境や指導の手立て、ほめ方など、たくさん思いついたアイデアを出そう

2. グッときたアイデアを決める

【5分間】

※1の枠から、よいと思われるアイデアを1～3個に◎をつける

3. アイデアを深める

【5分間】

※実際の指導場面は？必要な環境整備は？指導のステップは？有効かつ実行可能な好子はあ  
る？など

## 指導の手続き（第1回目）★第3層支援★

### ■ 個別事例① – 1

「友だちに対して適切な関わりができるようになる」

- ・ロッカー前に衝立を置く
- ・共通のあそびである『ガオガオゲーム』を行う。
- ・自分から誘う時に肩をとんとんたたいて誘う。
- ・やりとりには台本を使う。

### ■ 個別事例②

「登校時にバスから降りることが出来る」

- ・言葉かけし、荷物を持って先にバスを降りる
- ・降りてから称賛の言葉かけやおやつを手渡す

## アドバイザーからの助言（第2回目）★第1層支援★

- ・ 掃除行動観察チェック表の活用目的は個別の指導計画目標を立てる時の考え方（行動）の基本である。効率的にするために【手順】と【スキル】の項目の統一や関連性をわかりやすくする。コストは減らす。
- ・ 事例検討会ではより個人の情報共有が重要。個人の実態について質疑応答の時間を設定し、担任は情報提供にまわる。検討会后改めて詳細な情報を確認するためのルール決めが必要。

## アドバイザーからの助言（第2回目）★第3層支援★

### ■ 個別事例①－2

「食堂に移動して給食を食べる」

- ・ 移動→食べる→移動を細かく場面設定し，スモールステップで取り組む。
- ・ うまくいっている手立てを利用する。

### ■ 個別事例②

「登校時にバスから降りることが出来る」

- ・ 記録の取り方が曖昧なため達成基準を含め再考する
- ・ 言葉かけをする人間を教員に限らず，添乗員も含める

## 助言を受けての見直し（第2回目）★第1層支援★

- ①掃除行動観察チェック表【手順】と【スキル】の項目を統一する。
- ②【手順】との関連づけを明確にするため、【スキル】の課題分析した項目を網掛けにする。
- ③全体での事例検討会では個別の情報共有や検討会での詳細を改めて担任が確認できるようなルールを決めて行う。

## 助言を受けての手続き（第2回目）★第1層支援★

- ①修正した行動観察チェック表を年度末に活用し，次年度への引き継ぎ資料とする。
- ②年度内にグループ検討会→報告会を実施する。  
\* 必要に応じて個別事例検討会も実施する。
- ③全体での個別事例検討会では「できている行動」「望む姿」について質疑応答の時間を設定し個人情報を共有する。  
担任はグループに入らず各グループで必要に応じて情報提供を行う。
- ④検討会后，担任がリーダーに質問する機会を設定する。

## 助言を受けての見直しと手続き（第2回目）★第3層支援★

### ■ 個別事例①－2

「食堂に移動して給食を食べる」

- ・ 給食を取りに行く一歩付けすることから始める
- ・ スクールバス乗降の取り組みで成功している手持ちのスケジュールとご褒美（シール）を活用する

### ■ 個別事例②

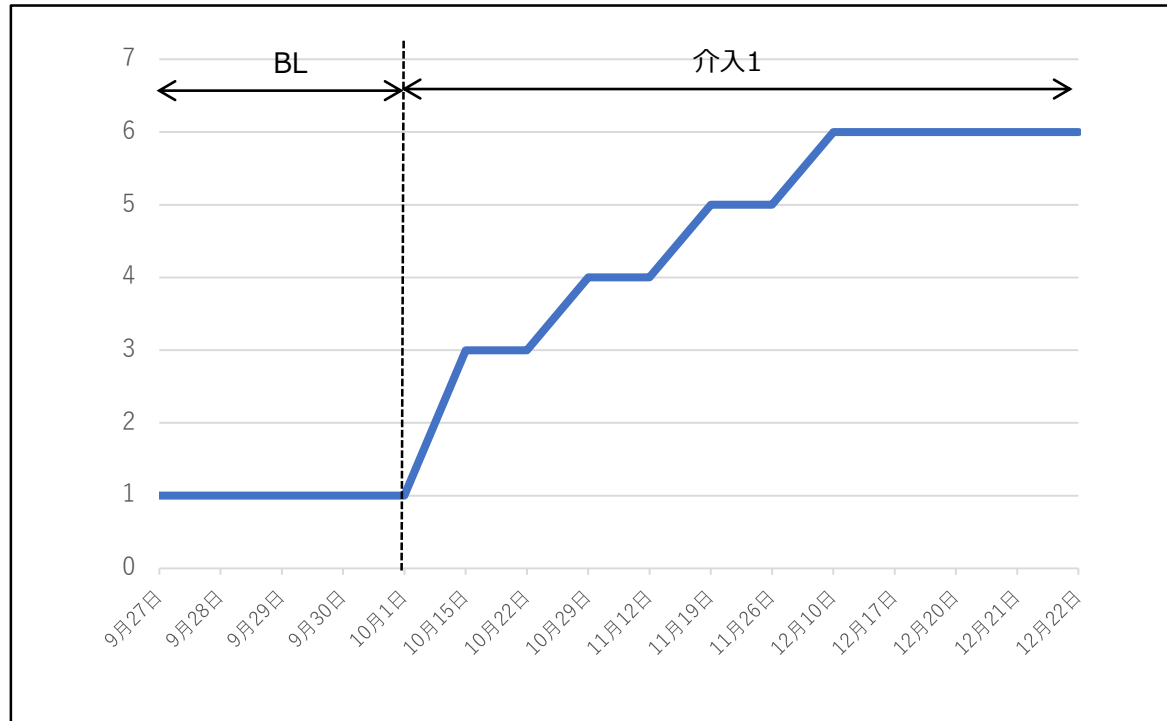
「登校時にバスから降りることが出来る」

- ・ 教員が言葉かけした後、添乗員の方が降りる際にも言葉かけしてもらい、降りない場合は教員が車外で待機する



# 指導の成果① 日常生活の指導（掃除）

## 〈指導例〉机ふきが一人でできるための指導



10月6日 グループ検討会を実施

【出たアイデア】

- ①机のスタート位置に印をつける
- ②モデリングをする
- ③野球選手のカードを好子にする

\* BL：掃除の時間に「机を拭く」と言葉がけをして見守る  
給食の時間に「机を拭く」と言葉がけをして見守る

介入1：

- ・正しく机が拭けた状態を見せる
- ・拭き方の手順書（スタート位置）を示す
- ・拭き方をモデリングする
- ・5回連続してできたら好きな野球選手のカードを手渡す

ツール：机を拭くための順路を示したカード

好子：好きな野球選手のカード

\* 介入1で①②③に取り組んだ

## 指導の成果②

### 個別事例①-1 ゲームを通して友だちと良い関係をつくる

ゲーム記録

	11/17(木)	11/19(金)	11/22(月)	11/24(水)	11/26(金)	11/29(月)	12/6(月)	12/8(水)	12/10(金)	12/15(水)	12/17(金)	1/12(月)	1/17(金)	1/19(月)	1/24(月)	1/28(金)
トントン							○ 導入	○	○ 自分から!	○	○	○	○	○	○	○
カード渡す	△ 声・指	△ 声	△ 声	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
言葉で誘う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
準備する	△ Tと	△ 声	△ 声	△ 声	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
順番決める	△ 声	△ 声	△ 声	△ 声	△ 声	△ 声	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「○○さんどうぞ」	△ 始めに声	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
順番守る	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○
タイマーで終了	△ 声	○	○	○	○	△ 声	○	△ 声	△ 声	△ 声	△ 声	△	△ 声	○	△	○
片付け	△ Tと	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トントン									△ 声 導入	△ 声 指	○	△ 声・指	×	○	△ 声	△ 声
「○○さんありがとう」	△ 声カード 指さし	△ 声カード 指さし	△ カード 指さし	△ 自らジェ スチャー	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△ 声	○

○：一人でできた

△：教員の支援あり  
でできた

- ・朝の日生で場面設定し、特定の友だちと取り組んだ
- ・徐々に良い行動が定着。ほかの場面でも相互作用が高まっている

## 指導の成果②

### 個別事例② 登校時にバスから降りることができる



#### 得点の見方

- 1 : 言葉かけと身体プロンプトで10分以上の座り込が続く
- 2 : 言葉かけと身体プロンプト
- 3 : 身体的プロンプト
- 4 : 言葉かけ後, 教員と降りる
- 5 : 言葉かけ後, 1人で降りる

介入1 : おやつを手渡す

介入2 : おやつの種類を増やす

介入3 : 言葉かけ後車外で待つ

介入4 : 添乗員も含めて指導する

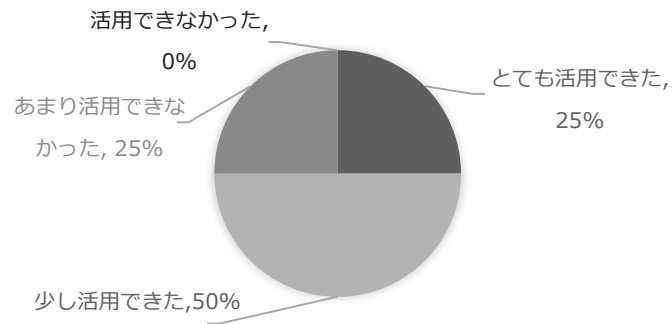
- ・ 10分以内や教員からの言葉かけという達成基準であったため, 点数が低くなってしまうこともあったが, 指導方法や基準を見直し指導を進めた。
- ・ 今後は, トイレや身辺処理の手立てとしても般化していきたい。

# 指導の成果③ 教員アンケート

## 1. 日生のチェックシートについて

### 1) チェックシートは実態にどの程度活用できましたか

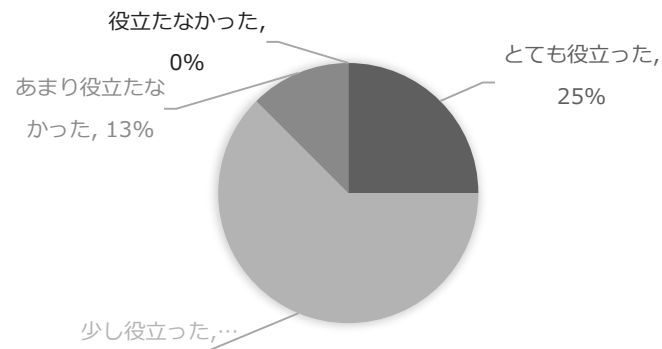
実態把握に活用できましたか



- ・項目が細かくあり, わかりやすい
- ・掃除のシートは現状を把握するいい材料になった
- ・昨年度から活用しているので目的や有効性を踏襲しながら使うことができた

### 2) 個別の指導計画の目標設定にどの程度役立ちましたか

個別の指導計画の目標設定に役立ったか

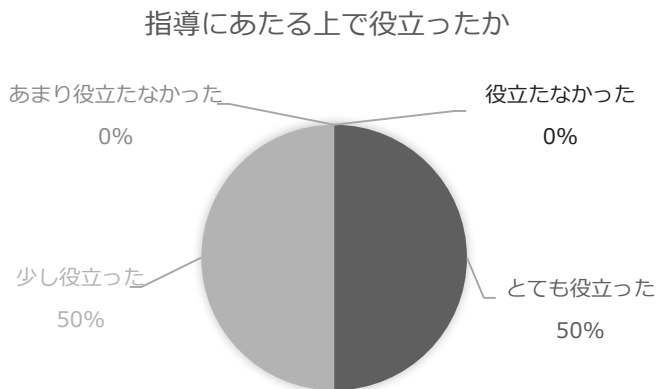


- ・個別に指導していく際にどこができてどこが苦手なのかを確認でき, ポイントを絞って指導しやすい
- ・次のステップが何かわかるので目標を立てやすい
- ・修正された掃除のチェック表がわかりやすい

## 指導の成果③ 教員アンケート

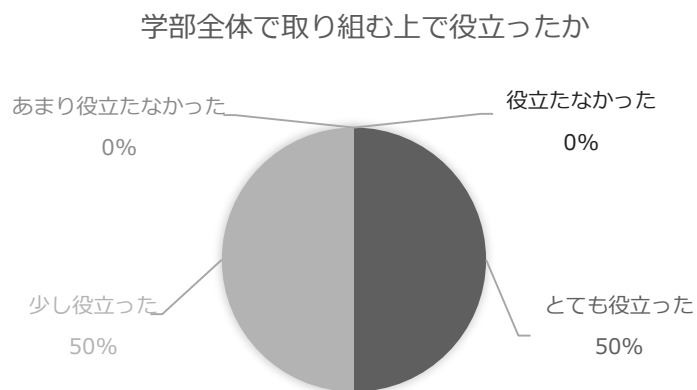
### 2. 個別事例の検討（第3層支援）について

#### 1) 個別事例の検討は指導にあたる上で役立ちましたか



- ・褒めることについて多くの先生の話を知ることができた
- ・記録をもとにしてどうすれば改善できるか話し合えたことで生徒理解が深まった
- ・アイデアを出しチームで取り組めたことがよかった
- ・教科担任制だからこそ各生徒の今の取り組みと指導法を共有できたのはよかった

#### 2) 学部全体で取り組む上でどの程度役立ちましたか



- ・対象生徒に関わってなくても共通理解でき、自分が関わる生徒の指導に生かせると思う
- ・他の事例でどのような取り組みがされているか知ることができ、指導方法が参考になった
- ・学年だけでなく学部全体で行うことで情報共有につながるし、ほかの先生の意見やアイデアを知ることができた。
- ・事例検討で、その生徒に対する指導を知ることができて、その後の自分の指導に役立てることができた

## ここが成功のポイント

### ☆ 既存の枠組みを活用しながら継続して取り組んだこと

- ・ 小学部で成果のあるSWPBSの枠組みを活用することで系統性が図れた
- ・ 個別の指導計画や実践報告集と関連づけることで負担感が軽減
- ・ 記録をとり成果が見える形になることで達成感につながった

### ☆ 個別事例の検討（第3層支援）を加えたこと

- ・ 個別事例について学部全体で検討会をもつことでいろいろなアイデアを出し合い、適切な指導方法について情報共有することができた
- ・ 指導方法について専門性を高めることができた

### ☆ 生徒情報について学部で話しやすい環境になったこと

- ・ 生徒の情報について学部会等で話しやすい環境づくりにつながった